

今月の農作業～種まき特集～

品目と品種	種まき Q&A
 <b>葉茎（花）菜類</b> 	<p>Q：タネをまいた後、写真のように土の表面に膜のようなものが発生するのですが、これは何ですか？また対処法はありますか？</p>
<p>☆ハクサイ                  品種：明春、晩抽大福、彩黄など</p>	<p>A：緑藻（いわゆる藻）の一種だと考えられます。                  緑藻は水分のほか、窒素、リン酸などの栄養分や、光が十分に存在すると増殖します。</p>
<p>☆ブロッコリー                  品種：おはよう、フォレスト、ノースベルなど</p>	<p>対策としては<b>播種後遮光すること、かん水する際に井戸や川の水を使用しないこと</b>です。とは言ってもずっと遮光すると苗が軟弱になってしまいますし、水道水を使い続けるのはコストがかかります。発芽したあとであれば大きな問題にはならないので、播種後1～2日間上記のような管理をするとよいでしょう。</p>
<p>☆カリフラワー                  品種：バロック、美星など</p>	<p>Q：好光性種子は発芽後不織布をかけていますが、ワラを被せても発芽しますか？</p> <p>A：好光性種子とは光があると発芽が促進される種子のことで、ニンジンやレタス、セルリーなどがそれに当たります。このような種子は覆土を厚くすると過湿になり、光も入らなくなるので発芽の条件としては好ましくありません。                  不織布は乾燥しやすく、また上から水をかけてもはじいてしまうので、使用する際は注意が必要です。ワラを使う際はそのまま敷くと厚くなりがちなので、ワラカッターなどで裁断してから使った方が良いでしょう。</p>
<p>☆チンゲンサイ                  品種：青美、ニイハオ114号</p>	<p>Q：セリ科（ニンジンなど）などの種をを均一にまく良い方法がありますか？</p> <p>A：ニンジン一般的に畝にまき溝をつけてすじまきします。</p>
<p>☆キャベツ                  品種：信州 868、SE、YRSE など</p>	<p>多少まきムラがあっても後にまびくのでそこまで気にしなくても大丈夫だと思いますが、均一にまくための機械としては以下のようなものが販売されています。それぞれに長所と短所がありますので、用途や面積に合わせて検討してください。詳細はグリーンファームにお尋ねください</p>
<p>☆セルリー（セロリ）                  品種：コーネル 619 など</p>	<p>Q：セリ科（ニンジンなど）などの種をを均一にまく良い方法がありますか？</p> <p>A：ニンジン一般的に畝にまき溝をつけてすじまきします。</p>
 <b>果菜類</b> 	<p>多少まきムラがあっても後にまびくのでそこまで気にしなくても大丈夫だと思いますが、均一にまくための機械としては以下のようなものが販売されています。それぞれに長所と短所がありますので、用途や面積に合わせて検討してください。詳細はグリーンファームにお尋ねください</p>
<p>☆トマト                  品種：リンカ 409、桃太郎シリーズ</p>	<p>多少まきムラがあっても後にまびくのでそこまで気にしなくても大丈夫だと思いますが、均一にまくための機械としては以下のようなものが販売されています。それぞれに長所と短所がありますので、用途や面積に合わせて検討してください。詳細はグリーンファームにお尋ねください</p>
<p>☆キュウリ                  品種：シャープ 301、モンドール</p>	<p>多少まきムラがあっても後にまびくのでそこまで気にしなくても大丈夫だと思いますが、均一にまくための機械としては以下のようなものが販売されています。それぞれに長所と短所がありますので、用途や面積に合わせて検討してください。詳細はグリーンファームにお尋ねください</p>
<p>☆ピーマン                  品種：京波、京ゆたか、（中型）ニューエース（大型）</p>	<p>数万円。まける面積は広い 約5千円。柄は別売り 約3千円。家庭菜園向け</p>



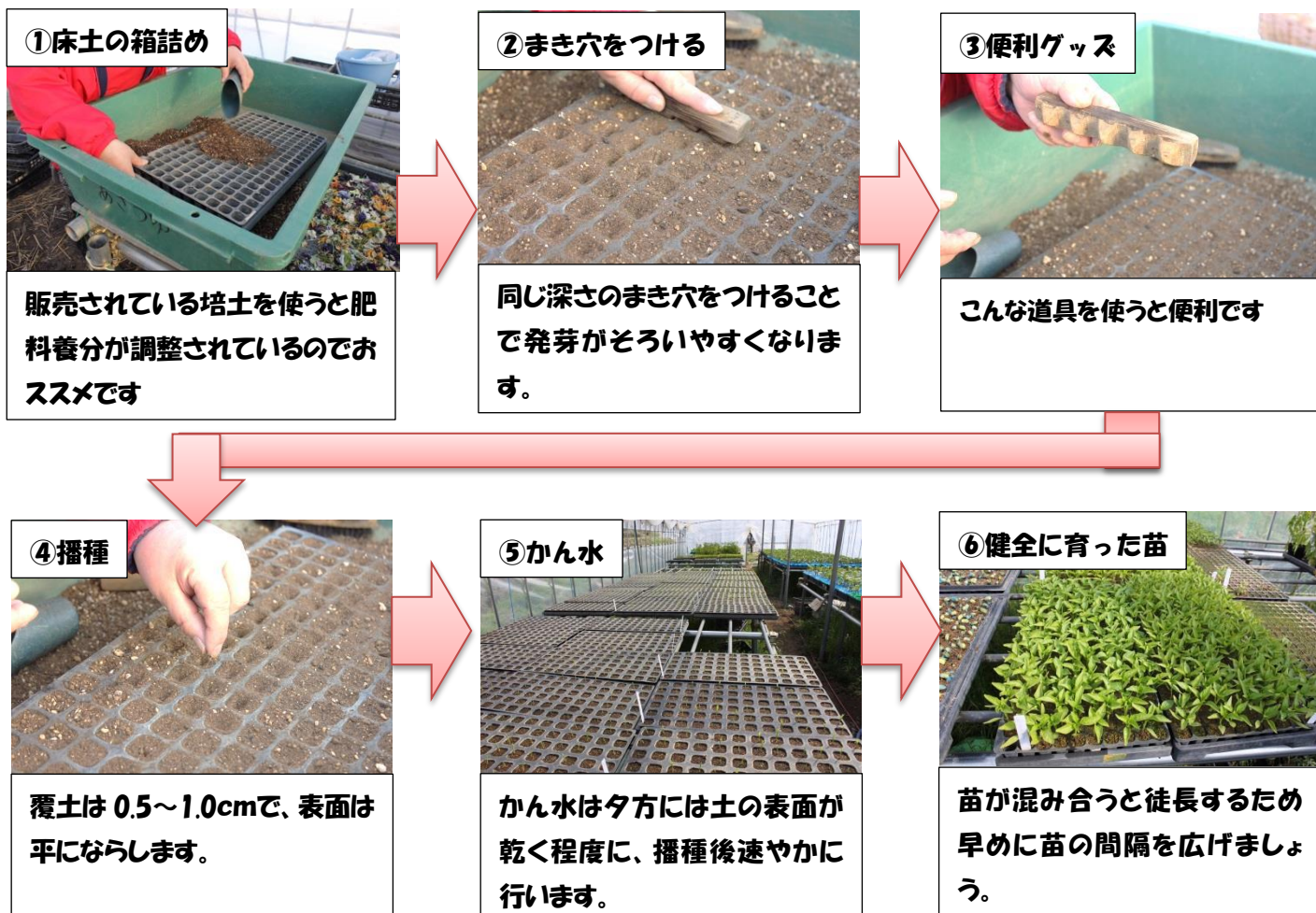
## 野菜作りの基礎知識（冬）～種まきから苗作りについて～

種まきには直接畑に種をまく「すじまき」や「点まき」の他に、苗を作るためにセルトレイやポットにまく「ポットまき」があります。

昔から「苗半作」という言葉があるように苗作りはとても重要です。苗を購入せず自分で作る際は以下の図を参考に慎重に行ってください。

表：冬期の仕事の例

来年度の計画（前々号記載）	農機具の整備
農地、作業場の片づけ	土づくり
種、苗や資材の手配→今号	土壌診断



### よいよ農業の実践（GAP）取組み紹介～澤山啓司さん～

課題	コストと労力を考えた施肥について
内容	水稲における一発施肥（ワンタッチ）と慣行施肥（イネ元気+追肥）による収量・品質の検討
感想	以前試したときほうまくいかなかったが、今回は収量・品質には大きな差はなかった。施肥コストは慣行の方が少なくすむが、追肥の労力を考えるとワンタッチの方が楽。一気に変更するのではなく、何年かかけて試していきたい。
普及センターから	ワンタッチに含まれる緩効性成分が、昨年度の天候では良い時期に効いたのかもしれませんが、また、稲わらを全量投入しているようですが、そこから供給される養分も考えて施肥量を検討してみてください。

#### あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

#### 技術事項作成協

上小農業改良普及センター（岡崎）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161